



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算説明資料

2016年11月4日

サッポロホールディングス株式会社

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

1. 2016年度 第3四半期 決算概況

2. 2016年度 通期業績予想修正

Appendix：事業別データ集



1. 2016年度 第3四半期 決算概況



SAPPORO

2016年度 第3四半期決算 グループ概観

決算：営業利益68億円増益（前期比）

	前期	当期	差異
売上高	3,881	3,922	41
営業利益	59	128	68
当期純利益	19	52	33

- ▶ トップライン増加（7期連続増収） 経営効率化が進む
- ▶ **営業利益は直近10年で過去最高益**
- ▶ 当期純利益は、前期の「渋谷桜丘スクエア」の売却による特別利益計上があったものの、増益を達成

有言実行の1年への確かな歩み

- ▶ 「ビール強化元年」の言葉通り、「黒ラベル」「アビス」の二大ブランドが引き続き好調を維持
- ▶ 不動産事業は銀座プレイスが開業し、安定的に収益を生み出す盤石の体制が整う
- ▶ 国際・食品飲料・外食事業を中心に、コスト削減など経営効率化を進める

計画達成について

- ▶ 国際・食品飲料・外食事業は経済市況の変化や為替の影響を受け、着地見通しを修正
- ▶ 各事業で売上に応じた販促費等のコストコントロールを継続し、全事業における前期比での増益を達成する



SAPPORO

2016年度 第3四半期事業別トピックス(1) 国内酒類事業

「ビール強化元年」の成果が顕著に表れ、構成比増加

国内ビール

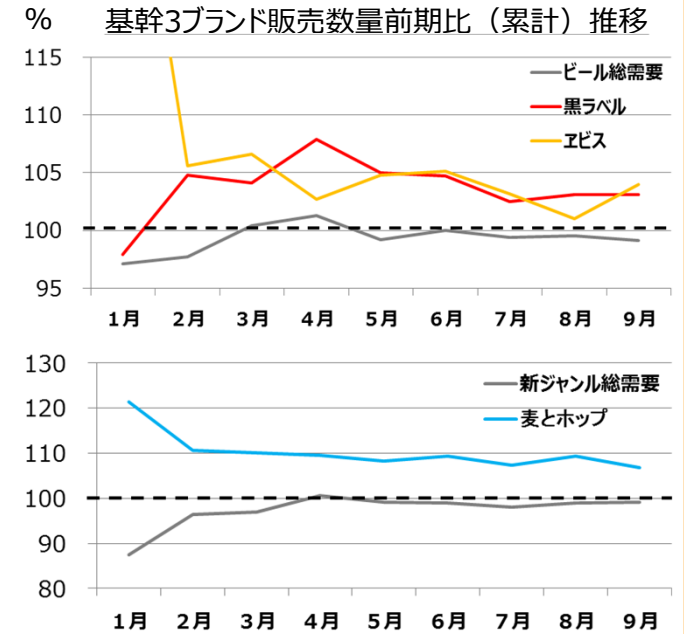
<ビール>

- **1~9月累計前期比105% (総需要99%)** (売上数量)
 - 「黒ラベル」 ブランド計前期比103%
 - 「アビス」 ブランド計前期比104%
 - ビール構成比 '15年3Q・57%→'16年3Q・60%に増加



<発泡酒 + 新ジャンル>

- 1~9月累計前期比93% (総需要98%)
 - 「麦とホップ」 ブランド計前期比107%
 - 「極ゼロ」 ブランド計前期比87% (9月にリニューアルを実施)



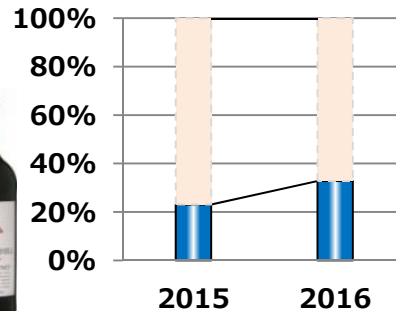
ワイン

- **第2の柱に向けた改革を進行中 ファインワインへ注力**
 - ファインワイン (※1) 市場へ世界的ブランドの提案
 - 輸入ワイン売上高に占める**ファインワイン構成比** →15年3Q・23%→'16年3Q・33%に増加

(※1) 1,500円以上の中高級価格帯ワイン



輸入ワインに占めるファインワインの構成比



スピリッツその他

- **総じて好調に推移** (RTDは売上数量、洋酒和酒は売上金額)
 - RTD事業：前期比121%
 - 洋酒事業：前期比117%
 - 和酒事業：前期比109%





SAPPORO

2016年度 第3四半期事業別トピックス(2) 国際事業

北米ビール事業は継続成長、ベトナムは2Qから復調

北米ビール

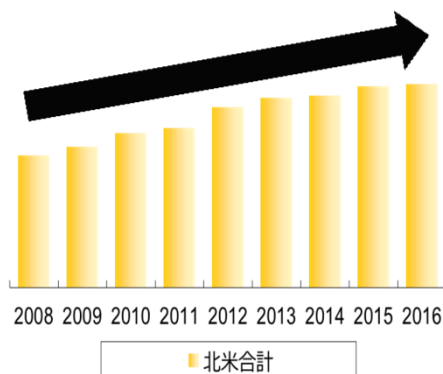
<スリーマン>

- **1~9月累計前期比101%** (売上数量)
 - 売上高は現地通貨ベースで**過去最高額**
 - 東エリアはプレミアムで、西エリアはバリューで牽引

<サッポロUSA>

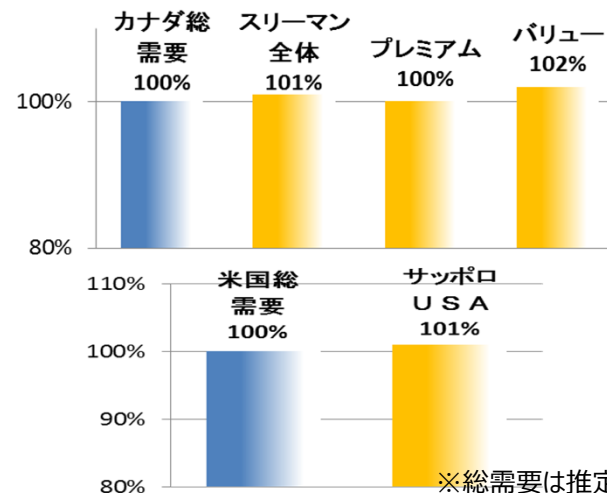
- **1~9月累計前期比101%** (売上数量)
 - 「SAPPORO」ブランドは順調に拡大し、**過去最高の売上高**
 - 物流費改善なども収益増に寄与

北米売上高は連続増収



※各現地通貨ベースの合計

北米ビール 売上数量前期比

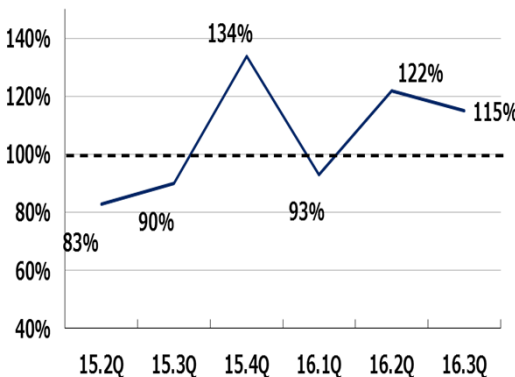


ベトナムビール

- **1~9月累計前期比109%**
 - 4月に瓶をクオリティアップ
 - コスト削減の取組を継続
 - 1Qは増税の影響もあり前期割れ
 - 2Qから、瓶・330ml缶が牽引し回復
 - 3Qは**7月に「BLUE CAP」発売**



ベトナム国内 売上数量前期比の推移



米国飲料

<カントリーピュアフーズ><シルバースプリングスシトラス>

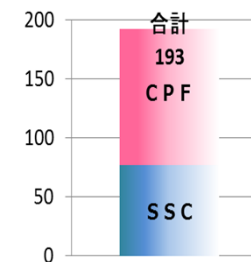
- 製造体制などのシナジー追及
- 果汁の原価低減

<リッジフィールズ>

- 5月に買収し、好調に推移



1~9月売上高 (US\$ millions)





SAPPORO

2016年度 第3四半期事業別トピックス(3) 食品・飲料事業

国内飲料・レモン食品好調、コスト削減を引き続き推進

国内食品・飲料

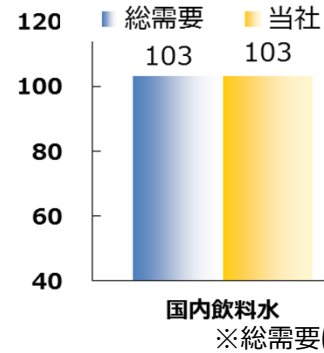
<国内飲料>

➤ **1~9月累計前期比103%** (売上数量)

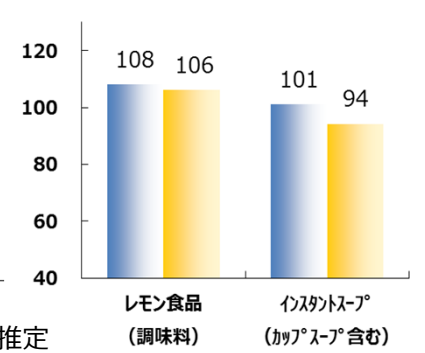
- 「レモン飲料」 前期比107%
- 「コーヒー飲料」 前期比99%
- 国産茎茶の「加賀棒ほうじ茶」など、独自性のある商品が全体を牽引



1~9月 飲料売上数量前期比



1~9月 食品売上金額前期比



<国内食品>

➤ 1~9月累計前期比95%

- 「レモン食品」 前期比100% (**売上金額: 106%**)
→値上げ後、価格定着
- 「インスタントスープ」 前期比91% (売上金額: 94%)
- 「新商品」 電子レンジ対応「じっくりコトコト褒美ダイニング」を発売



➤ **経営効率化・コスト削減を進める**

- 7月にアセプティックライン稼働 (群馬工場)
→飲料の内製化によるコスト改善
- インスタントスープの値引きを抑制
- 自販機等のコストコントロールによる収益性向上

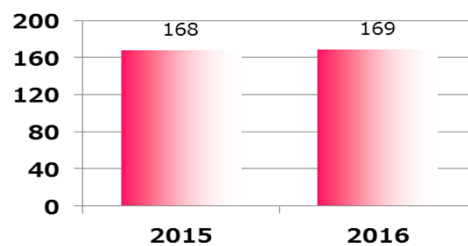


海外飲料

- シンガポール国内は好調に推移し、売上金額は前期比107%
- 輸出は中東における原油安・政情不安等による需要減退から売上金額は前期比92%

海外POKKAブランド

1~9月 売上金額 (SG\$ million)



大豆・チルド

➤ 大豆・チルド事業は、1~9月売上高16億円





SAPPORO

2016年度 第3四半期事業別トピックス(4) 外食事業

➤ 厳しい市場環境の中、着々と構造改革を進め収益力強化

国内外食

＜サッポロライオン＞

➤ 既存店売上高 前期比100%

- 原材料費、人件費の高騰と厳しい環境は続く
- 閉鎖は前期20店舗、当期4店舗
- 新規店は当期11店舗、改装2店舗
- 構造改革により高収益体質への転換図る
⇒ **営業利益は前期比141%**

➤ 基幹店再開、今後収益へ貢献

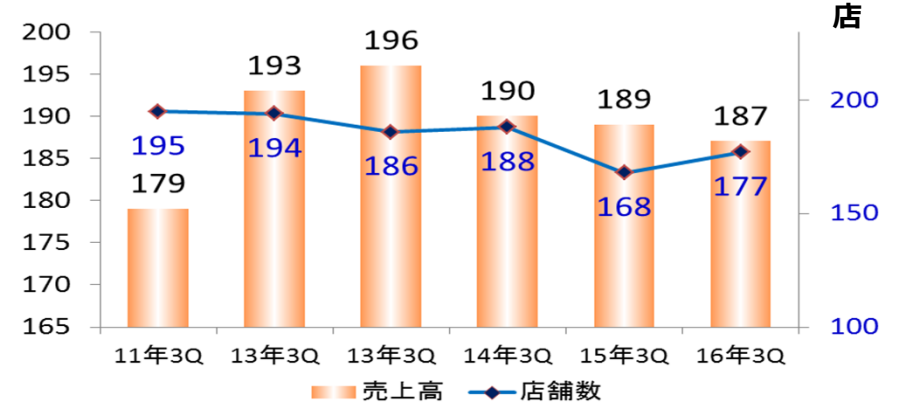
- 7/15
「銀座ライオン 新橋店」開店（3フロア計：121.48坪）
- 8/3
「銀座ライオン GINZA PLACE店」開店（2フロア計：145.55坪）

＜マルシンカワムラ＞

➤ 6月より新規連結

- 札幌を中心に「くし路」「札幌銀鱈」などを札幌市内で14店舗、関東で2店舗展開
- 比較的高単価で接待需要の多い和食業態に強み
- 昨年度売上高約22億円

＜サッポロライオン店舗数と売上高の推移＞



▲ 銀座ライオン 新橋店



▲ 銀座ライオン GINZA PLACE店



くし路 KITTE丸の内店 ▶



SAPPORO

2016年 第3四半期事業別トピックス(5) 不動産事業

➤ GINZA PLACE開業、恵比寿ガーデンプレイスは安定した稼働率を維持

不動産

<恵比寿ガーデンプレイス>

➤ **引き続き高稼働を維持、バリューアップも推進**

- タワー38階飲食フロアは10月27日にリニューアルオープン、39階は2017年夏オープン予定
- 山手線沿いエリアには、より多様なお客様にお酒と会話を愉しんでいただける個性豊かな飲食区画「BRICK END」が10月6日にオープン

<GINZA PLACE (銀座プレイス)>

➤ 明日の銀座を創るランドマークへ

- 「発信と交流の拠点」をコンセプトに、9月24日誕生
- 地下2階11階建 延べ面積約7,350㎡

<その他物件>

- 恵比寿ファーストスクエアは開業以来の満室稼働を維持
- サッポロファクトリーのバリューアップを継続推進、隣地の第3駐車場跡地再開発に着手、ショールーム及び事務所として一棟貸 (2017年5月竣工予定)

「恵比寿ガーデンプレイス」オフィス平均稼働率推移 (入居ベース)

'15年 1Q	'15年 2Q	'15年 3Q	'15年 4Q	'16年 1Q	'16年 2Q	'16年 3Q
87%	91%	93%	99%	99%	99%	99%

「恵比寿ガーデンプレイス」



「BRICK END」



「GINZA PLACE」



「恵比寿ファーストスクエア」





SAPPORO

2016年度 第3四半期事業別トピックス(6) 宮坂醸造(株)

「神州一ブランド」を軸に食品領域の拡大を目指す

2016年9月5日 味噌、即席味噌汁、フリーズドライ製品の製造販売を手掛ける宮坂醸造(株)の株式51%を取得



食卓に、おいしさと感動を

神州一味噌

創業1662年・宮坂醸造

会社概要

- 商号：宮坂醸造株式会社
- 所在地：東京都中野区野方2-4-5
- 資本金：48百万円（第三者割当増資前）
- 売上高：約70億円
- 株主： <対象外>

宮坂ホールディングス株式会社

<資本業務提携の対象>

宮坂醸造株式会社(味噌・神州一)

東京都中野区野方2-4-5

<対象外>

宮坂醸造株式会社(酒・真澄)

長野県諏訪市元町1-16

- 生産拠点：甲府工場（山梨県甲府市・味噌の製造）
上野原工場（山梨県上野原市・即席味噌汁のセットアップ）
東久留米工場（東京都東久留米市・フリーズドライの製造）
丸高蔵工場（長野県諏訪市・味噌の製造）

● 主な製品

▶ み子ちゃん



▶ おいしいね!! とん汁



▶ おみそ汁で乳酸菌



▶ 丸高蔵 十四割



インドネシア
合併事業





SAPPORO

2016年度 第3四半期 連結決算ハイライト

連結決算実績	2015年3Q	2016年3Q	増減 (額/率)		※為替換算レート 2015年 US\$=¥120.99 CAN\$=¥96.08 2016年 US\$=¥108.59 CAN\$=¥82.09
			増減額	増減率	
売上高 (酒税込)	3,881 億円	3,922 億円	41億円	1.1%	
売上高 (酒税抜)	3,056 億円	3,077 億円	20億円	0.7%	
海外売上高比率 (酒税抜)	23.5 %	21.0 %	▲2.5	—	
営業利益	59億円	128億円	68億円	115.1%	
営業利益 (のれん償却前)	90億円	158億円	67億円	75.3%	
経常利益	49億円	115億円	66億円	134.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	19億円	52億円	33億円	174.8%	
EBITDA	269億円	323億円	53億円	20.1%	
Net 金融負債残高	2,223 億円	2,151 億円	▲71億円	▲3.2%	
Net D/Eレシオ	1.4 倍	1.4 倍	—	—	



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(1) 決算特殊要因

<決算特殊要因（前年同期比）>

(— : 軽微)

事業セグメント	内容	売上高影響	営業利益影響
国際事業	前期：「シルバースプリングスシトラス社」連結取り込み期間変更 (前期10月～当期9月→前期1月～12月に変更) ⇒ 前期：2014年10月～15年6月の9カ月間取り込み 当期：2016年1月～9月の9カ月間	約▲28億円	—
国際事業	前期：「カントリー ピュア フーズ社」新規連結 (株式を取得した2015年2月24日より連結開始) 当期：1～2月の約2カ月分の売上高が増加	約29億円	—
食品・飲料事業	2015年10月に大豆・チルド事業に参入	約16億円	—

<為替の影響>

期中平均レート (1～9月)

	2015年	2016年		売上高	営業利益
US \$	¥120.99	¥108.59	国内酒類事業	—	—
CAN \$	¥96.08	¥82.09	国際事業	▲63億円	—
SG \$	¥88.74	¥79.15	食品・飲料事業	▲19億円	—

<減価償却方法の変更>

定率法→定額法に変更

	国内酒類事業	食品・飲食事業	外食事業	不動産事業
減価償却費減少額 (1～9月)	6.9億円	2.6億円	1.4億円	1.2億円



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(2) セグメント別売上高

(単位：億円)	2015年3Q	2016年3Q	前期比 (額/率)		備考
連結売上高	3,881	3,922	41	1.1%	
国内酒類事業	1,952	2,000	48	2.5%	
国際事業	532	480	▲52	▲9.8%	為替レート (16年1-3Q平均) US\$1=¥108.59 CA\$1=¥82.09 VND1= ¥0.00480
食品・飲料事業	993	1,015	22	2.3%	為替レート (16年1-3Q平均) SG\$1=¥79.15
外食事業	205	210	4	2.3%	
不動産事業	152	167	15	9.9%	
その他	44	47	2	6.4%	



SAPPORO

[単位：億円]

2016年度 第3四半期 決算概況(3) 売上高増減要因

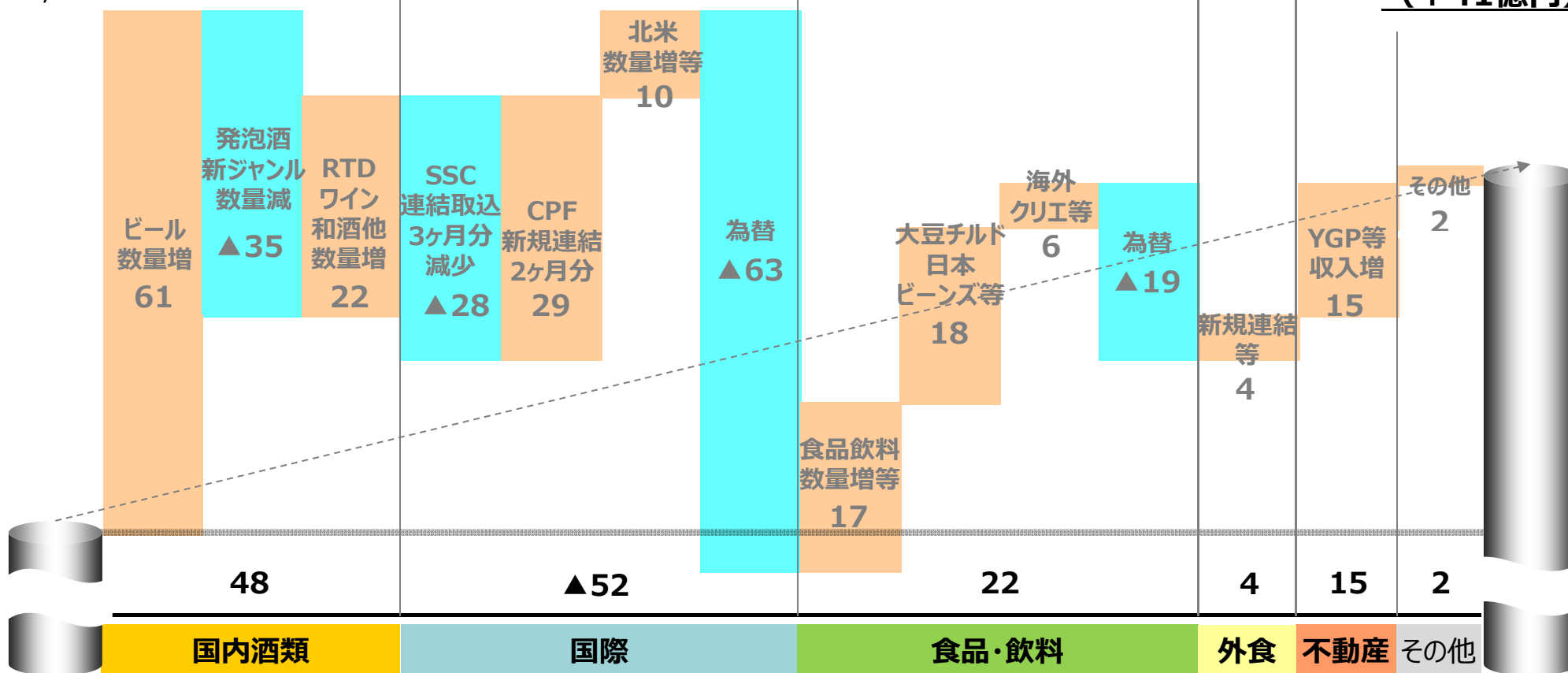
<売上高増減の主な要因>

増加

減少

2015年1~9月
連結売上高
3,881億円

2016年1~9月
連結売上高
3,922億円
(+41億円)





SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(4) セグメント別営業利益

(単位：億円)	2015年3Q	2016年3Q	前期比	備考
連結営業利益	59	128	68	
国内酒類事業	30	63	33	
ビール等	13	40	27	限界利益15、固定費その他13
ワイン・スピリッツ	11	15	4	限界利益8、固定費その他▲4
その他	7	8	1	
国際事業	▲0	7	8	
北米 他	15	20	5	限界利益9、固定費その他▲4
ベトナム	▲16	▲13	3	限界利益0、固定費その他3
食品・飲料事業	▲5	6	12	
国内食品飲料	▲15	▲3	12	限界利益14、固定費その他▲2
海外・外食 他	10	9	▲1	
外食事業	3	5	1	既存店▲1、閉鎖店他2
不動産事業	61	80	19	賃貸17、その他2
その他	0	▲1	▲1	
全社	▲30	▲34	▲3	
のれん償却費	30	29	▲1	
国際事業	12	12	▲0	
食品・飲料事業	17	16	▲1	
のれん償却前営業利益	90	158	67	



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(5) 営業利益増減要因

<営業利益増減の主な要因>

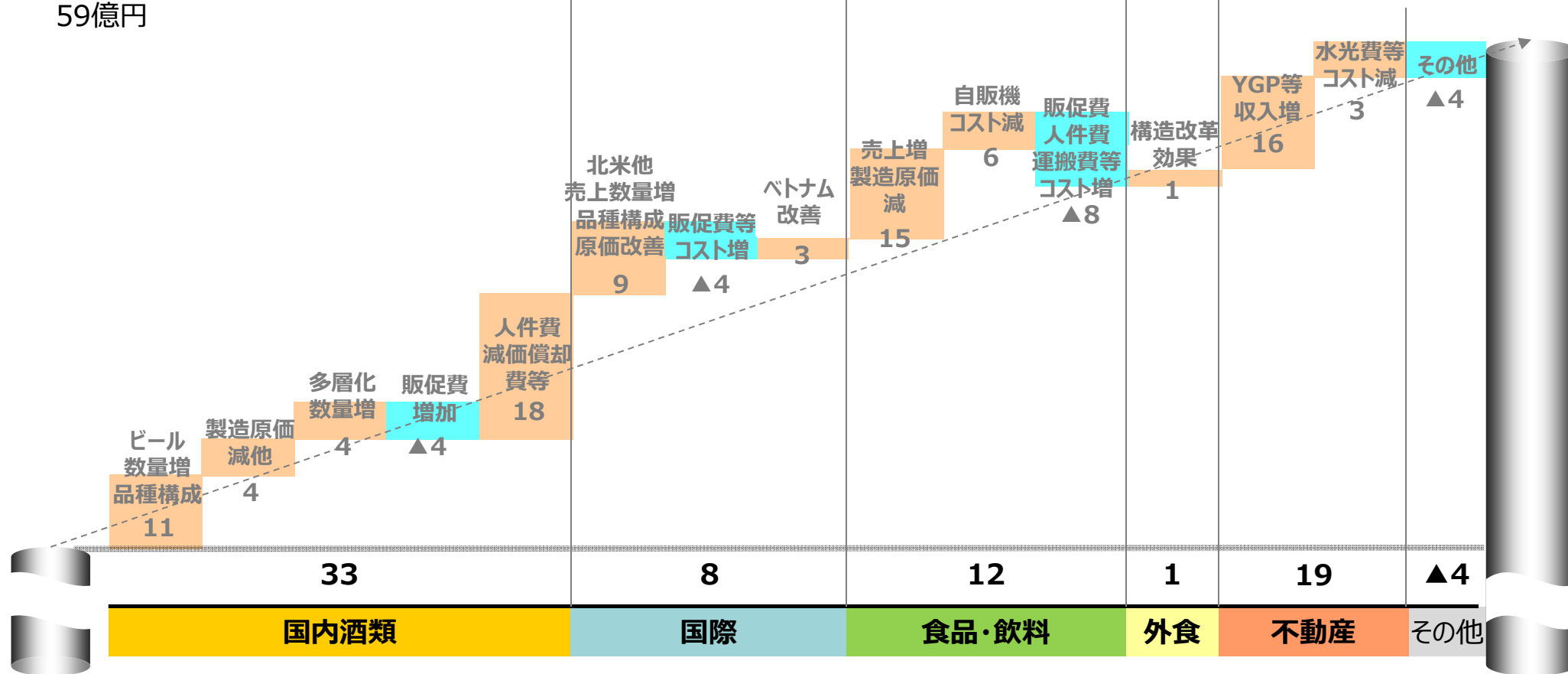
増加

減少

[単位：億円]

2015年1～9月
連結営業利益
59億円

2016年1～9月
連結営業利益
128億円
(+68億円)





SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(6) 特別損益等の概要

連結損益計算書 (単位：億円)	2015年3Q	2016年3Q	前期比	増減要因
売上高	3,881	3,922	41	
営業利益	59	128	68	
金融収支	▲8	▲7	1	
その他の営業外損失	▲3	▲6	▲3	為替差損▲2
経常利益	49	115	66	
固定資産売却益	74	0	▲73	15年：渋谷桜丘スクエア売却73
その他特別利益	4	0	▲4	15年：補助金収入3
固定資産売却除却損	▲9	▲12	▲3	
減損損失	▲33	▲5	28	15年：福利厚生施設▲14、遊休不動産▲17
その他特別損失	▲19	▲3	16	15年：投資有価証券評価損▲16
税引前利益	66	96	29	
法人税等他	▲48	▲43	5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	19	52	33	



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(7) 投資の状況

投資の概要（支払ベース・経常設備投資含む）

① <設備投資・リース料> 連結合計で約157億円

（有形固定資産・無形固定資産・リース料 等）

<主な内訳>

- 千葉工場 瓶列更新（国内酒類）約9億円
- インドネシア飲料工場 建築工事（食品・飲料）約8億円
- 群馬工場 アセプティックライン関連（食品・飲料）約4億円
- リース料（食品・飲料／他） 約22億円

② <その他投資> 連結合計で約50億円

（長期前払費用・子会社株式・投資有価証券 等）

<主な内訳>

- 子会社株式・事業譲受（国際／外食等） 約21億円
- 長期前払費用（国内酒類/食品・飲料）約28億円

①+② <2016年1～9月 投資実績 合計>

（支払ベース／経常設備投資・リース料含む）

- **約206億円**

長期戦略投資の方向性

- 引き続き、成長を目指し、積極的に成長戦略投資を実施
- 2012年から2016年の戦略投資規模としては、1,500億円～2,000億円（基本的に営業キャッシュフローの積み上げ）を想定
- 2012年～2016年9月戦略投資実績推移
 - 経常設備投資（戦略投資規模の約半分）を含む
 - 2012年投資実績：約657億円
 - 2013年投資実績：約235億円
 - 2014年投資実績：約295億円
 - 2015年投資実績：約402億円
 - **2016年3Q投資実績：約206億円（通期計画276億円）**
（通期計画内訳：設備投資195億円、その他の投資81億円）

ファイナンスの状況

- 2016年3月に5年普通社債 100億円 年利0.25%で調達
- 格付 JCR：A－（2016年1月28日）
R&I：BBB＋（2016年2月29日）



SAPPORO

2016年度 第3四半期 決算概況(8) BSの状況

連結貸借対照表 (要約)

(単位：億円)

	平成27年度末	平成28年度 第3四半期末	増減	主な理由
流動資産	1,563	1,406	▲ 156	
現預金	104	132	28	
売上債権	923	712	▲ 210	季節要因・銀行休業日の影響等
棚卸資産	386	406	19	
その他	149	155	5	
固定資産	4,640	4,516	▲ 123	
固定資産	3,477	3,464	▲ 12	
のれん	302	276	▲ 25	
投資等	860	774	▲ 85	有価証券評価差額金減少に伴う投資有価証券の減少
資産合計	6,203	5,923	▲ 280	
流動負債	2,336	1,948	▲ 387	
仕入債務	367	388	21	
短期金融負債	928	662	▲ 266	一年内長期借入金の減少
預り金	88	75	▲ 12	
その他	952	822	▲ 130	未払酒税の減少
固定負債	2,229	2,416	187	
長期金融負債	1,419	1,622	203	長期借入金の増加
退職給付に係る負債	76	68	▲ 7	
その他	733	725	▲ 8	
負債合計	4,565	4,365	▲ 200	
株主資本	1,333	1,358	24	
その他の包括利益累計額	245	147	▲ 97	有価証券評価差額金の減少
非支配株主持分	58	51	▲ 7	
純資産合計	1,638	1,557	▲ 80	
負債純資産合計	6,203	5,923	▲ 280	



2. 2016年度 通期業績予想修正



SAPPORO

2016年度 通期業績予想の修正

➤ **売上高**：年初発表より**▲177億円減収**

- 国際事業：年初想定為替レートとの乖離等により、▲131億円の減収
- 食品・飲料事業：年初想定為替レートとの乖離等により、▲73億円の減収
- 外食事業：「マルシンカワムラ社」の新規連結等により、+11億円の増収
- その他事業：「宮坂醸造」の新規連結にともない、+16億円の増収

➤ **営業利益**：年初発表より**▲10億円減益**

- 国際事業：売上高の減少により▲3億円の減益
- 食品・飲料事業：売上高の減少により▲3億円の減益
- 外食事業：既存店の売上等が年初想定と乖離し、▲4億円の減益

➤ **経常利益**：年初発表より**▲10億円減益**

- 営業利益の減少により▲10億円の減益

➤ **当期純利益**：年初発表より**▲5億円減益**

- 営業利益の減少により▲5億円の減益

(単位：億円)	2016年度 年初発表	2016年度 修正見通し	修正額	2015年度 実績	差異
国内酒類事業	2,880	2,880	-	2,736	143
国際事業	778	647	▲131	705	▲58
食品・飲料事業	1,437	1,364	▲73	1,356	7
外食事業	271	282	11	270	11
不動産事業	228	228	-	208	19
その他事業	60	76	16	60	15
売上高	5,654	5,477	▲177	5,337	139
のれん償却前営業利益	250	240	▲10	181	58
国内酒類事業	111	111	-	86	24
国際事業	9	6	▲3	1	4
食品・飲料事業	17	14	▲3	4	9
外食事業	13	9	▲4	5	3
不動産事業	100	100	-	82	17
その他事業	2	2	-	0	1
全社	▲41	▲41	-	▲40	▲0
営業利益	211	201	▲10	139	61
経常利益	202	192	▲10	132	59
親会社株主に帰属する 当期純利益	105	100	▲5	61	38

▶ **経済市況の影響（為替等）により下方修正となるが、
全事業において増益を達成出来る見込み**



Appendix : データ集



SAPPORO

2016年度 第3四半期 主な売上数量・金額（前期比）

国内酒類

（単位：万箱／大瓶換算、※RTDは250ml×24缶換算）

	平成28年度 第3四半期	平成27年度 第3四半期	前年比
サッポロ生ビール黒ラベル計	—	—	103%
エビス計	—	—	104%
①ビール計	—	—	105%
②発泡酒計	—	—	88%
③新ジャンル計	—	—	95%
ビール・発泡酒・新ジャンル合計（①+②+③）	—	—	100%
ビールテイストノンアルコール飲料	62	75	82%
RTD（※）	204	169	121%

注：平成26年7月より、ビール酒造組合での合意に伴い販売数量の発表方法を変更したため、

第3四半期の販売数量実績は開示しておりません。

尚、上半期及び年度末につきましては、従来どおり販売実績を開示いたします。

（単位：億円）

	平成28年度 第3四半期	平成27年度 第3四半期	前年比
国産ワイン	35	37	95%
輸入ワイン	54	51	104%
ワイン計	89	89	100%
洋酒計	49	42	117%
焼酎計	113	103	109%

海外ビール

（単位：万箱／大瓶換算）

	平成28年度 第3四半期	平成27年度 第3四半期	前年比
スリーマン社（※1）	963	957	101%
サッポロブランド	417	394	105%

※1：サッポロブランドを除く。

飲料水（ポッカサッポロフード&ビバレッジ）

（単位：万箱）

	平成28年度 第3四半期	平成27年度 第3四半期	前年比
飲料水（※2）	3,463	3,377	103%

※2：国内売上のみ。（豆乳除く）

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	1,117	1,178	61	5.5%
発泡酒	137	120	▲16	▲12.3%
新ジャンル	388	368	▲19	▲5.0%
合計	1,642	1,667	24	1.5%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

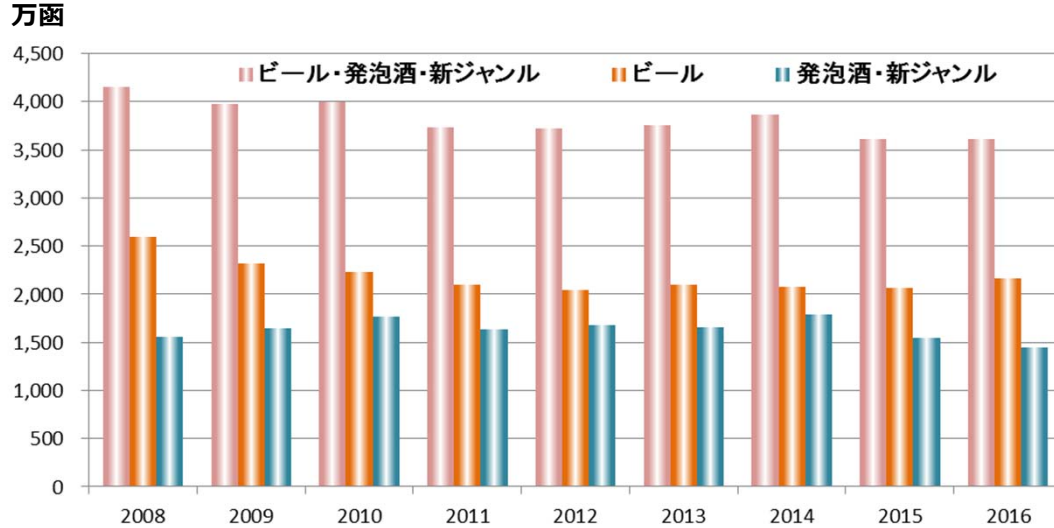
	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	545	578	33	6.1%
発泡酒	76	66	▲9	▲12.3%
新ジャンル	269	255	▲13	▲5.0%
合計	890	901	10	1.2%



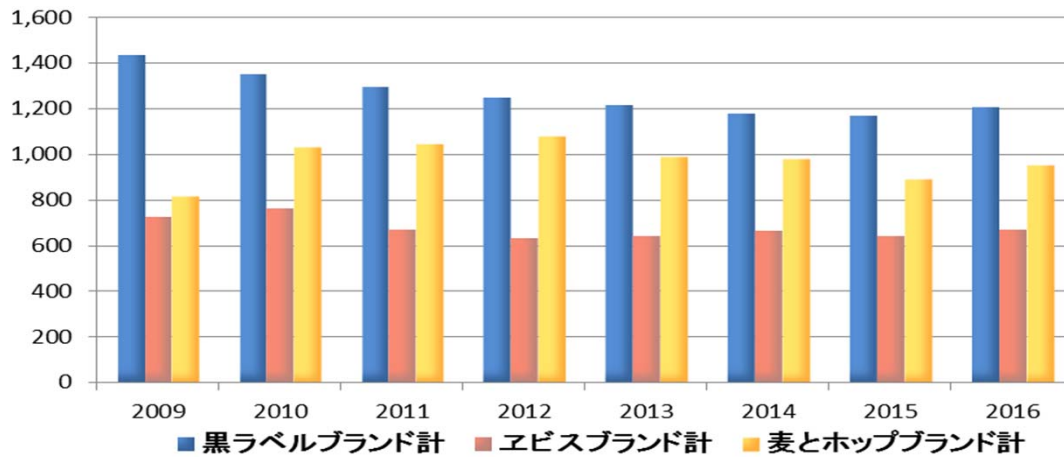
補足資料(1) 国内酒類事業～ビール類データ～

SAPPORO

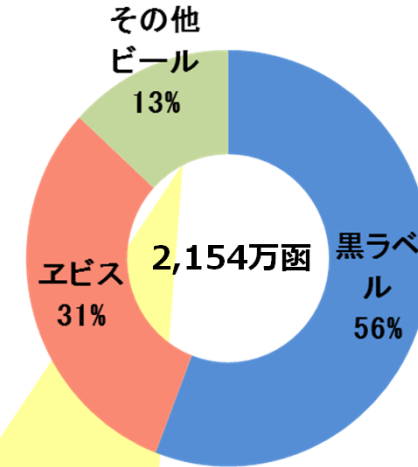
＜ビール類及びビールカテゴリ1～9月売上数量（課税出荷）推移＞



＜基幹3ブランド1～9月売上数量（販売数量）推移＞



＜ビールカテゴリラインナップ（1～9月構成比）＞



- (1) **サッポロラガービール**：日本で最も歴史ある熱処理ビール瓶のみで展開するが、今年缶を限定発売
 - (2) **エーデルピルス**：樽生のみ。チェコ・ザーツ産ファインアロマホップを3倍（当社比）使い、華やかな香りが特長
 - (3) **白穂乃香**：厳選された店のみで提供する無濾過樽生ビール
 - (4) **サッポロクラシック**：麦芽100%の北海道限定販売のビール
15年連続で売上増
- 他



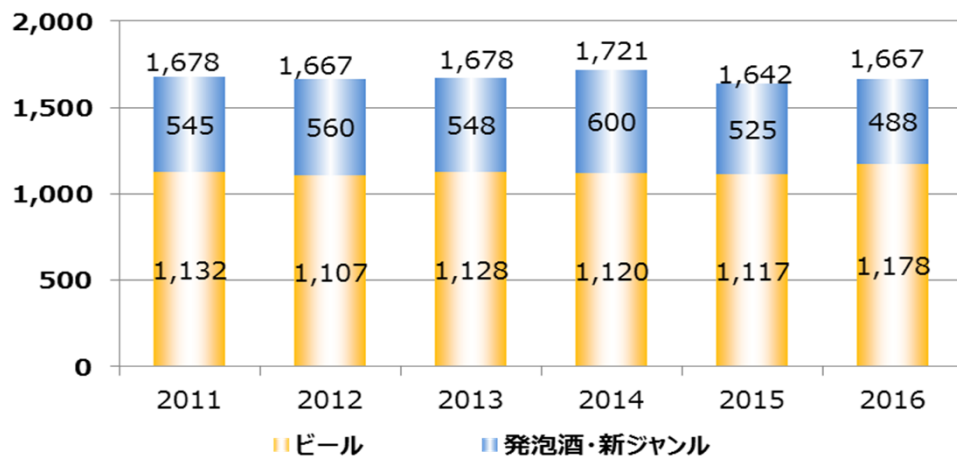


SAPPORO

補足資料(2) 国内酒類事業～多層化データ～

<1～9月売上金額（億円）推移>

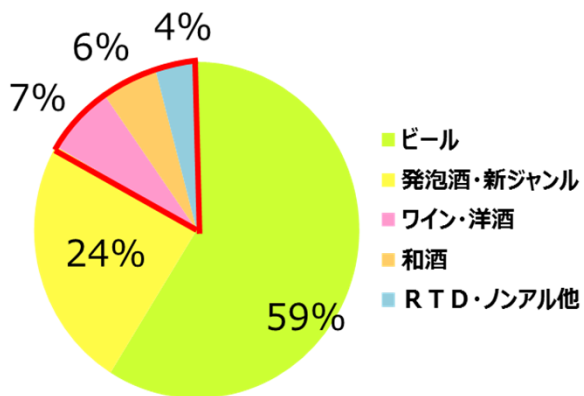
ビール類（酒税込み）



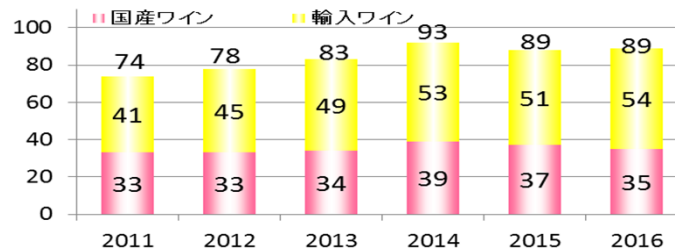
多層化の推進

<国内酒類事業1～9月カテゴリ別売上金額構成比>

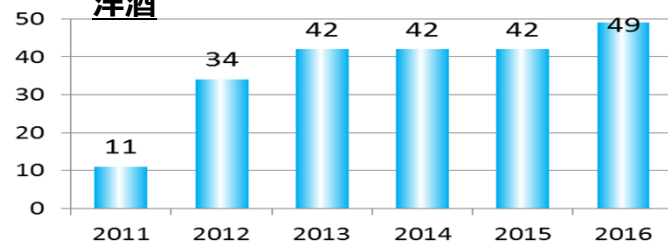
1～9月売上高
2,000億円



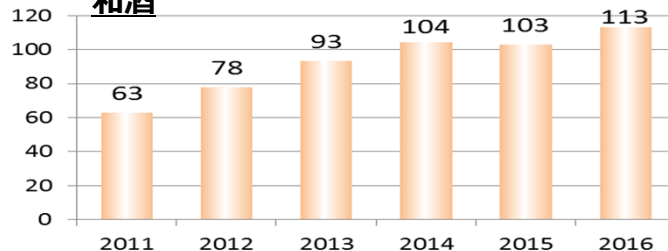
ワイン



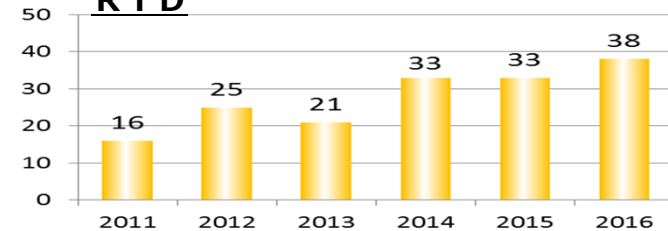
洋酒



和酒



RTD

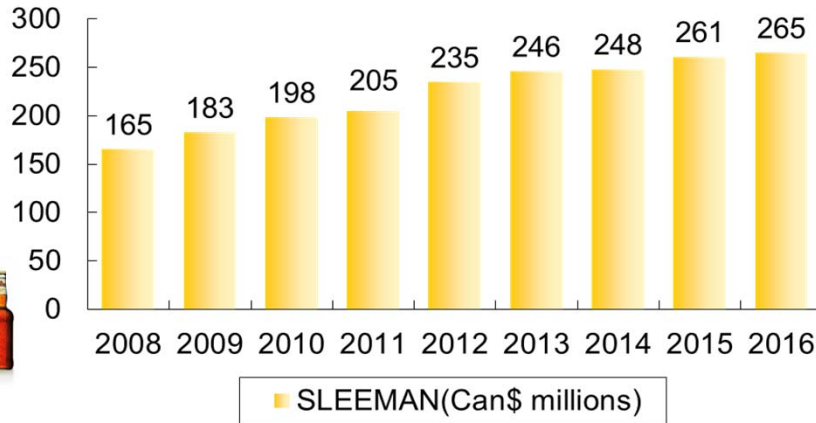




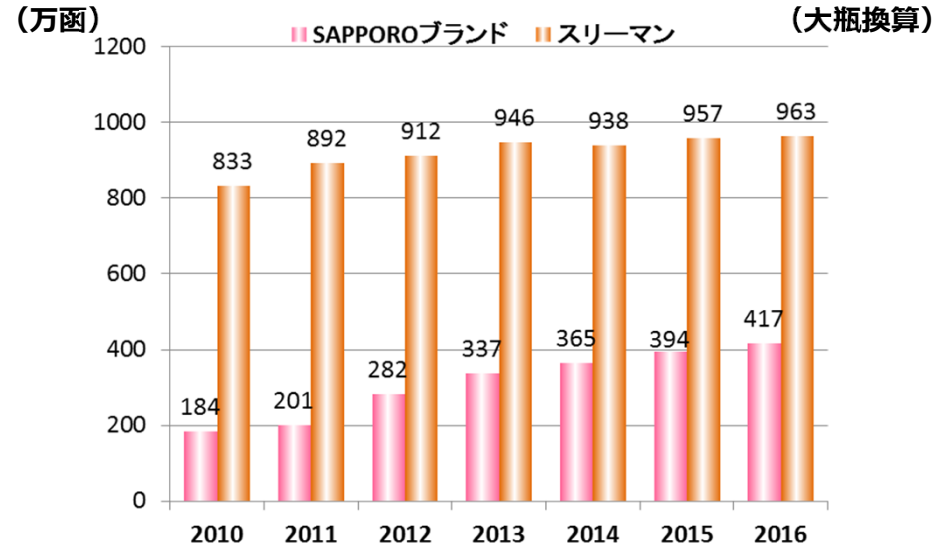
補足資料(3) 国際事業～データ～

SAPPORO

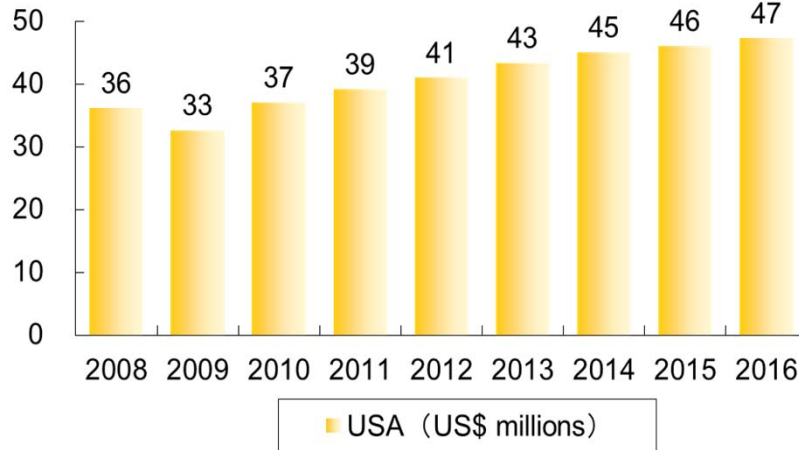
スリーマン社：現地通貨売上高（連結消去前）の推移（1～9月）



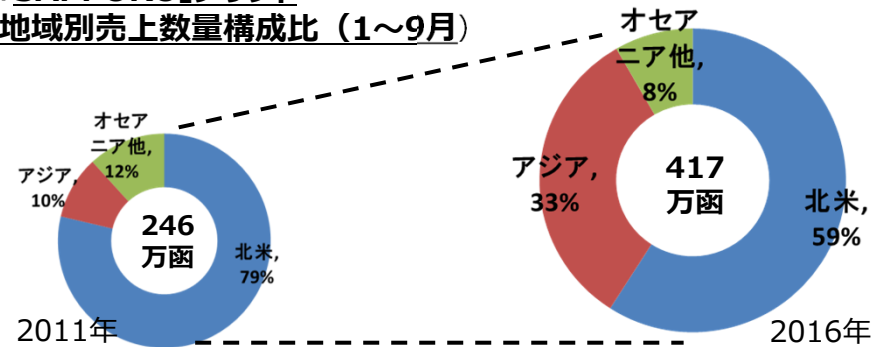
＜海外ビール売上数量の推移（1～9月）＞



サッポロUSA社：現地通貨売上高(連結消去前)の推移（1～9月）



「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比（1～9月）



北米：カナダ、アメリカ
 アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
 オセアニア他：オーストラリア、欧州他

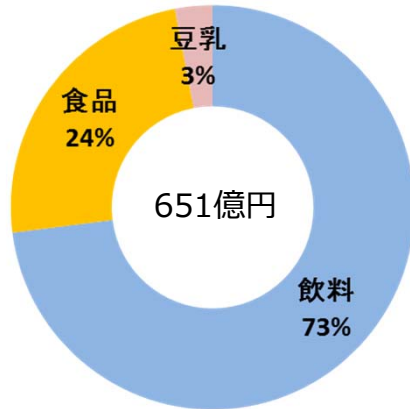


SAPPORO

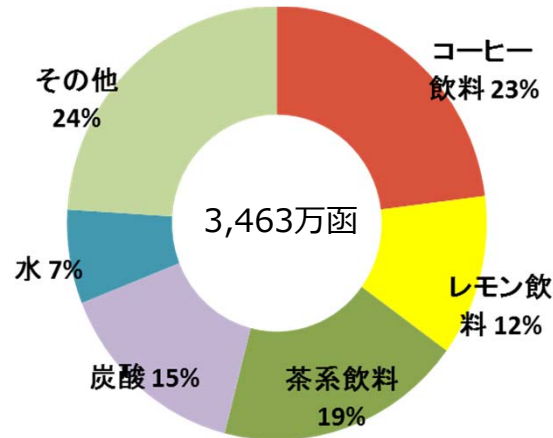
補足資料(4) 食品・飲料事業～データ～

<国内飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>

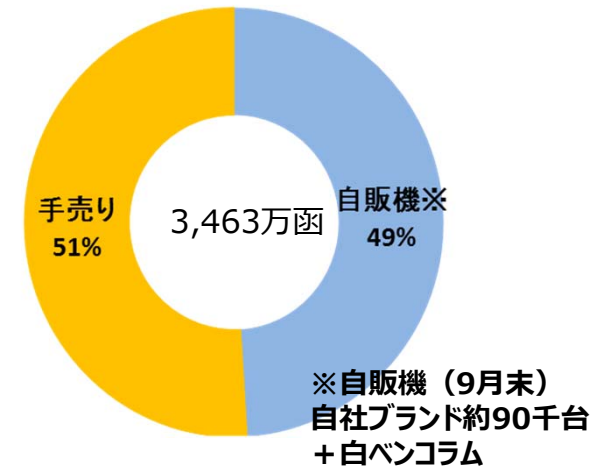
ポッカサッポロフード&ビバレッジ
売上高構成比（1～9月）



国内飲料ジャンル別販売数量
構成比（1～9月）

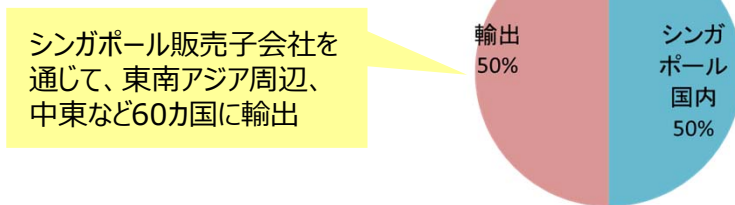


国内飲料チャンネル別
売上構成比（1～9月）



<海外飲料事業：ポッカコーポレーション・シンガポール>

POKKAブランド
1～9月累計 売上高比率



<国内外食事業：（株）ポッカクリエイト>

- 「カフェ・ド・クリエ」：季節に合わせた新メニューの提案、新規出店を積極的に展開、売上高は前期比107%

店舗数：194店（2016/9月末現在）
 （直営：112店舗 FC：82店舗）
 （東日本：108 中日本：38 西日本48）



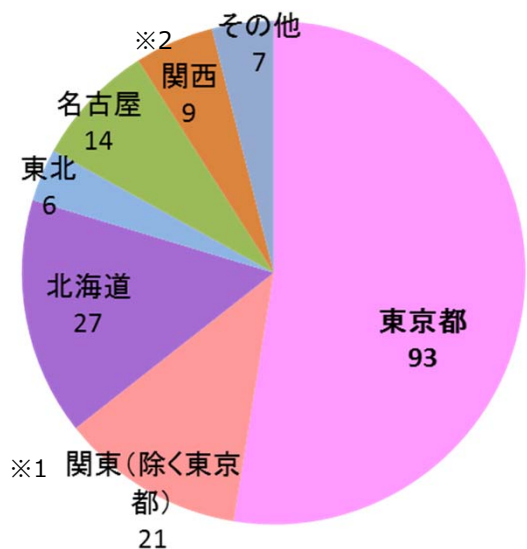


SAPPORO

補足資料(5) 外食事業～データ～

<サッポロライオン 店舗展開>

➤ 2016年9月末：177店舗



※1：栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨
 ※2：大阪、京都、兵庫

(銀座ライオン 基幹店)

➤ 銀座ライオン 新橋店

フロア	店名	坪数
1F	PUB LION	14.78坪
2F	銀座ライオン BEER HALL	53.35坪
3F	銀座ライオン STAR HALL	53.35坪

➤ 銀座ライオン GINZAPLACE店

フロア	店名	坪数
B1F	ブラスリー 銀座ライオン	56.75坪
B2F	ビヤホール 銀座ライオン	88.80坪

<ニュー三幸 店舗展開>

- 1954年に小樽市で創業
- 北海道内で9店舗展開

<マルシカワムラ 店舗展開>

- 「くし路」：札幌4店舗、東京1店舗
- 「札幌銀鱈」：札幌1店舗、川崎1店舗
- 「炙屋」：札幌5店舗
- 「隠れ家」：札幌2店舗
- 「まねきや」：札幌2店舗

<シンガポール 店舗展開>

- 「銀座ライオン」：2店舗
- 「とん吉」(トンカツ)：4店舗
- 「リヴゴーシュ」(洋菓子)：8店舗



SAPPORO

補足資料(6) 不動産事業～データ～

主要物件概要・稼働率 : <1～9月平均・入居ベース>にて記載

都内23区主な賃貸物件	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	99%	地下5階付40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	15,496	100%	地下1階付12階建
恵比寿スクエア	1,561	9,126	97%	地下1階付7階建
銀座プレイス	645	7,350	-	地下2階付11階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100%	地下1階付13階建

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡（区分所有）、建物89.72%（共有持分）

賃貸等不動産期末時価情報

<2015年12月末時点>

連結貸借対照表計上額 : 約1,977億円

期末時価 : 約3,574億円

営業利益

単位：億円

	15年1-9月	16年1-9月	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	47	62	15
北海道事業	8	9	1
その他物件・事業	12	15	3
全社共通費用	▲12	▲12	-
合計	55	74	19

EBITDA

EBITDAは、「営業利益+減価償却費」にて算出

単位：億円

	15年1-9月	16年1-9月	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	68	83	15
北海道事業	12	13	1
その他物件・事業	19	21	2
全社共通費用	▲12	▲12	-
合計	87	105	18



潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料で記載している業績予測ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている将来見通しとは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。